



学校便り はぎ

平成31年度 No. 11
発行：令和2年2月28日
東村山市立萩山小学校
TEL 042-391-8116
FAX 042-397-5405

新しい春、新しい時代に向かって

～皆で力を合わせてまいりましょう～

校長 小泉 ひとみ

(1年)



先月の「道徳授業地区公開講座」には、大勢お越しくださいまして、誠にありがとうございました。一人一人がご家族から大切にされていること、いのちある喜びを実感する授業をご覧いただけたことをうれしく思います。授業以前に、保護者の皆様には、お子様へのお手紙を準備していただくなど、ご協力いただくこともあったと思います。お陰様で、子供たちは、自分が大切な存在であることに改めて気づき（自己有用感）、自他のいのちを大切にしようという心が更に育ちました。ありがとうございました。

また、伊藤 弘樹氏「ゲームと勉強」の講演会では、全校児童、保護者・地域の皆様、行政の皆様、教職員が、予測不可能の時代を生きる子供たちにとって、全教科学習、とりわけ特別の教科 道徳の大切さを共有できたことも、とてもうれしいことです。

学校では、令和元年度は、これからの時代を生きる子供たちに、「基礎的・基本的な学習を定着させること」「自他を大切にし、協力すること」を標榜として取り組んでまいりました。引き続き取り組むべき課題もありますが、成果も多数ありました。中でも、月1回の放課後補習教室（ちょこべん）は、①子供たちが進んで、粘り強く学習に取り組み、「分かった」「たのしい」を実感してくれたこと、②そのような子供の姿が教師の意欲につながったことは大きな成果です。また、③学校独自で2～6年生全児童に年3回一斉テストを実施・分析・「ちょこべん」へ活用したことも成果の一つです。今後、更に進めていきたいです。

AIの発達だけでなく、気象、健康、環境についても予測不可能な時代です。また、2030年ゴールのSDGs（*1月学校だより掲載）の大原則は、「誰一人取り残さない」ことです。誰もが大切にされなければならない共生の時代です。

どんなことが起ころうとも、関心をもち、ご家族や友達・周りの人と協力して、正しく判断・行動できる子供たちを共に育てましょう。

*本年度残り1か月、全児童が充実した時を過ごし、「やりきった」を実感して新しい春を迎えられるように、と思っておりましたが、突然の休校です。無念ですが、命・健康が最も大事です。こんなときこそ、一層力を合わせてまいりましょう。またメール等でご連絡いたします。健康・安全に気を付けてお過ごしください。

○ 南風 春のぼかぼか つれてくる ○ 卒業おめでどうとね 思ったよね (3年)

春が来た あたたかい春が 朝が来れば 自慢の鳴き声 ホーホケキョ
さあ、きょうもがんばろう 詩「春が来た」(4年)

大なわを とんでみた 勇気を出してとんでみた わたしは
いたくないよ 連続とびが できちゃった (2年)

「私の目標」(6年) 人、会、進、心、背、楽、努力、修、夢、友、輝、健、夢、一、幸、歌、開、神、福、柚、始、義、律、新、学、聡、努、実、野、和、挑、躍、勝、諦、創、動、実力、親、優、美、叶、宇、剣、仲、希、花、藤、笑、絆



(5年)